はっらつ

みしま社協だより
2018.2.1 NO.94

社会福祉法人
三島市社会福祉協議会
〒411-0841
三島市南本町 20-30
電話:055-972-3221
ＦＡＸ:055-972-3466
ホームページアドレス
http://mishimashakyo.jp

将棋で育むコミュニケーション
新春将棋教室・大会

平成30年1月6日（土）、三島市社会福祉会館にて、将棋ボランティア「一七の会」と三島市社協による新春将棋教室・大会を開催しました。参加者は、7歳から85歳までの初心者・経験者を含む30名で、各グループに分かれて将棋のルール説明を受けたり、対局を楽しんだりしました。

この大会は、子どもたちが夏休みに将棋ボランティアと対戦するという企画で平成27年からスタートしたものです。回を重ねるごと、将棋は世代や性別を超えたコミュニケーションツールであることを再認識し、将棋ボランティアとの対戦だけでなく、多世代の参加者同士が対局できる現在の形式に至りました。この日も、将棋盤を挟んで差し向かい「お願いします」の挨拶から始まり、「参りました」「ありがとうございました」の礼で終了する対局過程から、たくさんの温かい交流が生まれました。

終了後のアンケートより、「初めて家族以外の人と対局出来て楽しかった」「久しぶりに人と対局した」「大人と対局して負けたけど、楽しかった」「企画を続けてほしい」など多くの喜びの声をいただく中、三島市社協では、「一七の会」と共に、将棋で育むコミュニケーションを更に推進してまいります。

将棋ボランティア「一七の会」　趣味を活かして地域で活動するボランティア。外出が困難な方のお宅や福祉施設を訪問し、将棋・囲碁の対戦相手として活動するほか、将棋教室・大会を開催。問い合わせは、三島市社協まで。電話０５５（９７２）３２２１

藤代町

地域の魅力を活かした絆づくり

ぽかぽか大会

平成29年12月17日、藤代町町内会にて「ぽかぽか大会」が開催されました。

藤代町では、現在子ども会活動が休止中であったり、例年行事で行われていた餅つき大会がなくなったりと、少子高齢化と共に人と人とのつながりの希薄化が顕著となってきていました。

そこで、一昨年、町内会誕生から50周年を迎え、餅つき大会を復活させ、これを機に今年度は、地域の新たな行事としてこの「ぽかぽか大会」が企画されました。町内会長の吉岡さんが発起人となり、次の50年に向けての地域づくり、今やればコミュニティが再生する可能性が大きいのではないかという熱心な思いから、地域住民と一緒に開催に至ったものです。藤代町は閑静な住宅街の中、平らな町、コンパクトな町が特徴です。今回新たな取組みとして、これらを藤代町ならではの強みと捉え、公民館、公園、市営藤代住宅集会所、ふじしろデイサービスと、町内全域を利用した新たな行事が行われました。

当日は天候にも恵まれ、子どもから高齢者まで多くの住民が賑やかな人の声に誘われて集まり、各場所では、バルーンアート、中国式健康体操、おやじバンドによる歌、キャンドル作りやネイルアート等のイベントを楽しんでいました。

「外に出ると季節と人が待っている季節のある町 藤代町」をキャッチフレーズに、この町内ならではの、これから10年…50年先も、だれもが安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指した住民主体の取り組みが期待されます。

町内会長の吉岡さん（前列中央）

募集

やさしく楽しく百人一首を楽しむ会

競技かるたではありません。楽しくゆっくり百人一首を楽しむ会です。脳トレに最適です。60歳以上・男女どなたでも、かるたが好きな方大歓迎です。お待ちしています。

ところ／三島市社会福祉会館2階
とき／第2・4金曜日　13時～16時
費用／年会費あり
問合せ／若草カルタ会　瀬川さん
電話０５５（９７１）０１４５

平田・新谷・玉川地区×「あかなすの里」懇談会

あかなすの里（玉川）は、施設開設以降、平田・新谷・玉川地区と施設行事等を通して交流を深めています。そんな中、施設の一部を地域活動に利用してもらえるよう開放していきたいとの意向があり、三地区の自治会長をはじめ、あかなすの里施設長、第1層生活支援コーディネーター、静岡県社協、三島市社協とで懇談会を昨年11月と12月に開催しました。

懇談会では、各地区の実状を共有し、地域に何が必要で、住民が何を求めているか等を把握の上、利用方法を検討していくという方向性の基、地域住民にアンケート調査を実施することが決まりました。今後、この調査結果に応じた勉強会を開催し、住民主体の活動を進めてまいります。

ご存じですか？ 日常生活自立支援事業

福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方が分からない。銀行へ行ってお金を下ろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。公共料金の支払いを忘れてしまった、通帳などの大事な書類の管理が心配。このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、あなたがいきいきと安心して暮らせるようにサポートする制度…それが『日常生活自立支援事業』です。

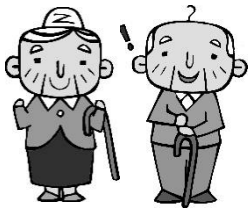
■利用できる人（対象者）

日常生活に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等（注）であって、必要な福祉サービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難であると認められる方が対象で、福祉施設や病院に入所、入院した場合でも利用できます。ただし、ご本人と利用契約を結ぶ必要があるため、一定の判断能力が必要となります。

（注）認知症と診断された高齢者、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳を有する人に限るものではありません。

■利用料について

相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。契約後に提供されるサービスについては、有料となります。



■サービスの内容

1. 福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いします。（福祉サービスの利用に関する情報提供、相談／福祉サービスを利用したい時の利用手続きの援助／福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの援助）

2. 毎日の暮らしに欠かせない、お金の出し入れをお手伝いします。（福祉サービスの利用料、病院への医療費の支払いの援助／年金、福祉手当の受領に必要な手続きの援助／金融機関での預貯金の出し入れの手続きの援助）

3. 大切な書類や証書などを安全な場所でお預かりします。※本人が書類等の保管場所が分からなくなることや紛失、盗難にあうことを防ぐため（通帳、印鑑、証書などのお預かり）

寄付者のご紹介

一般寄附：三島愛石会／南婦人会／三島市身体障害者福祉会／静岡福祉協力会　渡邉仁美／せせらぎラジオ体操会／（株）マルヨ（有）松韻　代表取締役社長　伊丹秀之／三島遊技場組合／飛龍高等学校三島スクール／ＪＡ三島函南三島支部／芦川陽星

物品寄附：三田清子／下山時計店／マックスバリュエクスプレス三島谷田店／三島退職公務員連盟／吉田義博／第一生命労働組合沼津営業職支部

※順不同・敬称略　９月１日～12月31日受付

（右）飛龍高等学校三島スクール様より
（左）第一生命労働組合沼津営業職支部様より

おしらせ／ぼしゅう／ごあんない

参加者募集！居場所づくり勉強会

居場所の作り方、運営方法、居場所を拠点とした見守り・声掛け・助け合い活動などについて学ぶ勉強会を開催します。

と　き／3月2日（金）13：30～15：30

ところ／三島市社会福祉会館　4階　大会議室

定　員／30名（参加費無料）

対　象／居場所づくりに興味のある方

※参加者の駐車場はありません。お近くの駐車場又は公共交通機関のご利用をお願いします。

福祉車両・車椅子をご利用ください

外出困難な高齢者や障がい者等の生活圏拡大と体力の維持向上、また、交流・親睦の機会を増やすことで、より良い日常生活が送られるように、福祉車両（車椅子のまま乗降できる車両）及び車椅子の貸出をしております。通院、入退院、外出等でお困りの際は是非、ご利用ください。なお、車椅子は複数用意してございますが、福祉車両は1台しかございませんので、利用されたい予定日より早めに電話又は、来所されてご確認ください。

＊初めて利用する方は、お電話にてご相談ください。

＊福祉車両のガソリン代は個人負担となります。

＊車椅子の貸出期間は最長1ヶ月となります。

＊子供用車椅子もご用意しております。

＊各貸出は無料ですが、社会福祉協議会賛助会員のご協力のお願いをさせていただいております。
（年会費4月～翌年3月まで　1口／1,000円）

各掲載内容に関するお申込み、お問い合わせは、
三島市社会福祉協議会　電話 055-972-3221

臨時職員募集中です！

「生活介護事業所えがお」で一緒に働いてくださる方を募集しています。主に知的障がいのある方が通所する“さくら班”で、利用者の皆さんと「えがお」の絶えない施設を目指して働いてみませんか。

職　種／生活介護支援員（臨時職員）

業務内容／日常生活上の支援、食事等の介護、相談及び援助、生産活動・創作活動の補助等

勤務時間／平日8時30分～17時15分

※詳細については下記、お問い合せ先までご連絡ください。

▲生活介護事業所えがお（新谷190-2）

お気軽にご相談ください ふくし総合相談

三島市社協では、福祉に関する様々な相談を電話又は来所にてお受けしています。相談内容に応じて問題解決のお手伝いができるように助言や支援、福祉サービスや関係機関等の情報提供を行っています。

相談時間／月～金曜日（祝日を除く）8時30分～17時00分

相談内容／生活や家族、福祉サービス、日常生活における不安や福祉に関すること。介護サービスや介護方法等について相談したいが、誰に聞いてよいかわからないことなど、介護全般に関すること。ボランティアをやってみたい、お願いしたい等、ボランティアに関すること。居場所づくりに関する相談など。お気軽にご相談ください。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。